

特集：光赤外位置天文学（2）

銀河系の中心核円盤と中心核星団	西山正吾	277
位置天文観測による銀河系内ブラックホール探査	鹿内みのり	287
重力マイクロレンズと位置天文学	越本直季	296

シリーズ：海外の研究室から

第2回 天文学者、キノコにはまる Yunnan University / SWIFAR 云南大学 / 中国南西天文研究所（雲南省，中国）	島袋隼士	308
--	------	-----

シリーズ：天文学者たちの昭和

佐藤文隆氏ロングインタビュー 第3回：大学院時代	高橋慶太郎	312
-----------------------------	-------	-----

年会	日本天文学会2023年秋季年会のお知らせ	323
----	----------------------	-----

月報だより		330
-------	--	-----

【表紙画像説明】

写真は京都大学天体核研究室の1962年春のハイキングの時のもので、場所は山科の醍醐寺境内、右の林忠四郎教授は42歳、その左の佐藤文隆はD1の大学院生である。春、秋、恒例のハイキングでは、林は平日の服装、平日の弁当を抱えて参加するのが通例だった。1961年のハヤシ・フェーズ発表とHHS (Hayashi・Hoshi・Sugimoto) 大論文(1962年2月刊行)の完成で自信を得た林がそれまでの核融合の「天の部」と「地の部」という研究室の二本柱を「天の部」一本に転換させ始めた頃である。

(シリーズ：天文学者たちの昭和 佐藤文隆氏ロングインタビューより)

【今月の表紙デザイン】

「流星」

流星に通信が遮られているうちに、探査機内のディスクが無くなっていた。「うさぎ」たちは落としたディスクを回収するために、新しい機械を作らなくてはならない。

急ぎの仕事で、星の嵐よりもせわしない。